

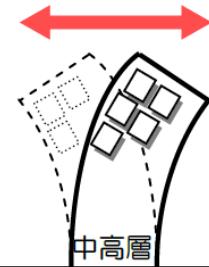
第230号

2013年5月14日

つつじが丘北

自分たちの地域は自分たちで守ろう！

- 東日本大震災では、マンション特有の地震被害のゆっくりとした揺れが非常に長く続く、長周期地震動などが明らかになりました。
- マンションは、多くの居住者がともに暮らす、「コミュニティ」。今こそ、つつじが丘北地域全体の防災力の強化が求められています。
- ● ● ● みんなで、防災・減災に取り組みましょう！ ● ● ● ●



自助で 自分の命は、自分で守る

- ① 全世帯、家具転倒防止対策の実施
- ② 3日分の生活必要物資(食料等)の備え
- ③ 簡易トイレの備え



防災・減災の基本！

共助で

- 自分たちの地域は自分たちで守る（マンションは運命共同体！）
- 管理組合・自治会で常設の自主防災組織を構築し、常に連携が重要

連携と絆で
災害に強い
つつじが丘北
地域を！

近助で、防災隣組を！

- お隣さん・近所の方々と声を掛け合い、助け合う
- いざの時の為に「防災隣組」で助け合う組織を作ろう

公助とは

- 警察、消防、市・都・国、など行政機関が行う支援活動のこと
- 平常時の連携＆取り組みが大事！自治会が窓口で連携をしています

自助

72時間どう生き残るか？

自分の身は自分で守りましょう。また事前に、

家具転倒防止対策などで
“安全エリア”を作ろう



公助

公的機関の、
復旧・復興が
はじまります

※食料配布は3～4日後、また併せて
インフラ整備等が
順次開始されます

“防災隣組”



共助

地域で、
助け合い
ましょう

近助

隣近所で助け合いましょう

発災直後

3日目